



NESSAN SDGs REPORT 2022

熱産ヒートが世界をCOOLに



コーポレートサイト
<https://www.nessan.co.jp/>



環境対策展 ソリューション事例
<https://www.jirei-nh.com/>



3D プリンタでの Si-SiC 加工はこちら
<https://chielab.com/>

熱産ヒート株式会社

〒804-0077 福岡県北九州市戸畑区牧山海岸3-56
TEL.093-873-5039 FAX.093-873-5050



Management Philosophy
経営理念

『共創・共生』の精神で、熱を中心とする技術開発を通じて、
研究開発型企業として時代の要請に
応える商品を提供し、顧客満足を目指す。



代表取締役社長

川口 千恵子



熱産ヒート株式会社は1975年（昭和50年）の創業以来、『共創・共生』の精神で、熱処理技術を通し時代ごとのニーズにお応えする研究開発型企業としてお客様に寄り添ってまいりました。

近年は、弊社技能者による現地熱処理工事、高周波誘導加熱装置をはじめとする装置機器のご提供、炉の設計・施工と様々な方法で生産現場におけるソリューションを提供しております。時代のニーズに寄り添い、国内外のものづくりと社会の持続可能性に貢献し、お客様に「熱処理といえば熱産ヒート」と思い出しただけのファーストコール・カンパニーを目指しています。

昨今、社会や企業経営環境は著しく変化しています。当社は、社会課題の解決をビジネスを通じて展開する企業への転換を目指し、SDGsに取り組んで参ります。今回、当社のSDGsへの想い、取り組み、目標などを知っていただくことで、SDGsに取り組む企業としての覚悟を持ち、企業経営をさらにブラッシュアップしていきたいと考えています。



初代社長の牛島正祐が溶材ガス会社から独立し創業して以来、顧客満足を目指すという想いを胸に「お客様が何を求めておられるか」を常に考え、ニッチな要望の中に新たな顧客価値を創出し続けています。先代から受継ぎ大切にしている経営理念（想い）をもとに、社会課題解決の一助となれるよう、Never give upの精神で新しいことにもチャレンジを恐れず、時代の変化に柔軟に対応することを課題とし、今後さらに技術を磨いてまいります。

Purpose
存在意義

持続可能な社会をリードする熱技術の専門家

COOLな技術集団を目指すと共に、『共創・共生』の企業理念のもと
パートナーシップを大切に、世界中で共有できる新技術の開発にチャレンジします。

Vision
ビジョン



熱産ヒートが世界をCOOLに



人生100年時代がやってきました。子世代孫世代その先までずっと豊かな暮らしを続けていくために、熱技術のプロ集団として地球温暖化に歯止めをかけることが“持続可能な未来社会の創造”に必要な不可欠であると考えました。熱源の電化促進、熱エネルギー回収の研究、再生可能エネルギーの活用、限りある資源の無駄遣いを無くす取り組みなどを行い、3S活動や社員研修（Nessan Future Learning）を通じて、サーキュラーな社会を実現していきます。

Policy
方針



持続可能な社会の創造のため
以下の社会課題解決にチャレンジします



- ▶ 「NESSAN QUALITY※」でクリーンエネルギーを創出します。
- ▶ 地域社会に寄り添い共に温暖化対策に取り組みます。
- ▶ 循環型熱技術で魅力ある世界を実現し次世代へとつなぎます。



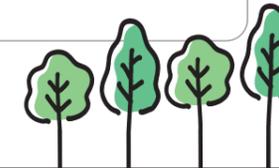
- ▶ 技術開発に専念できる制度・環境を整えます。
- ▶ 熱技術のプロとして世界で共有できる技術開発に取り組みます。
- ▶ クリエイティブ思考でお客様の需要に真摯に向き合います。



- ▶ 従業員の働き方改革や健康管理を実施します。
- ▶ 安心安全の認め合う場づくりを行います。
- ▶ 自己研鑽・自己実現をお互いに応援し合う人間関係を築きます。

※「NESSAN QUALITY」とは

2019年にSDGsに向けての取り組みをスタート。全従業員で会社の未来について議論を重ねた際に出てきた言葉が「NESSAN QUALITY」。これは『世界に認められる品質を出し続ける企業になろう』という社員皆の想いが詰まった言葉。これを受けて2020年1月22日に「熱産SDGsプロジェクト」を始動。



沿革

- 1975年（昭和50年）3月
初代社長 牛島正祐により創業
設立資本金 2,500 千円
- 1978年（昭和53年）9月
資本金を 5,000 千円に増資
- 1981年（昭和56年）6月
資本金を 10,000 千円に増資
- 1985年（昭和60年）6月
資本金を 20,000 千円に増資
- 1985年（昭和60年）8月
北九州市八幡東区諏訪町から
北九州市戸畑区銀座へ
工場取得と同時に本社移転
- 1993年（平成5年）3月
資本金を 30,000 千円に増資
「経営の合理化」で
中小企業庁長官賞受賞
- 1996年（平成8年）2月
北九州市八幡東区枝光に工場
及び事務所新築と同時に
北九州市戸畑区銀座より
本社移転
- 1998年（平成10年）11月
高周波誘導加熱装置
“NETZ System” が中小企業
先端技術展において財団法人
九州産業技術センター会長賞受賞
- 1999年（平成11年）8月
ISO(国際標準化機構)
9001 を認証取得
- 2002年（平成14年）8月
ISO(国際標準化機構)
9001 : 2000 版を認証取得

沿革

- 2006年（平成18年）3月
北九州商工会議所において
満30年継続企業表彰
- 2008年（平成20年）4月
子会社 熱ヒートプロテック
(熱処理・製造部門) 設立
- 2008年（平成20年）6月
代表取締役会長 牛島正祐
取締役社長 川口千恵子
- 2010年（平成22年）5月
建設業認可（一般 管工事業）
- 2010年（平成22年）6月
新工場増築
- 2011年（平成23年）6月
ISO(国際標準化機構)
9001 : 2008 版を認証取得
- 2011年（平成23年）6月
北九州市 2011年
オンリーワン企業認定
- 2012年（平成24年）5月
第18回「福岡びびき経営者賞」
技術革新・商品開発部門受賞
- 2013年（平成25年）3月
やまぎん地域企業助成基金受賞
- 2013年（平成25年）4月
代表取締役社長 川口千恵子
- 2017年（平成29年）7月
ISO(国際標準化機構)
9001 : 2015 版を認証取得
- 2017年（平成29年）11月
子会社熱ヒートプロテックと合併
- 2018年（平成30年）6月
北九州市戸畑区牧山海岸へ
本社及び工場を移転
- 2021年（令和3年）11月
北九州SDGs
第一次登録事業者登録証受理



【魅力の創造】

サステナブルな社会と環境をつくることに貢献します。



地域や企業とつながりを持ち、互いに技術を磨きながら
熟技術を活かした環境問題解決に取り組みます。
技術研鑽を続け「NESSAN QUALITY」で安心できる
地域社会の創造を行います。

サーキュラーな社会の実現へ



【需要の創造】

研究開発型事業として必要とされる熟技術を提供し続けます。



時代に合わせた魅力的な商品を開発し求められる企業として、「熟」まわりの研究開発を続けます。様々な現場の問題を、顧客の立場で考え、解決していきます。

熟技術のスペシャリストへ



【人間関係の創造】

認め合い高め合う風土をつくり、元気で楽しい会社へと成長します。



全てを支えてくれる従業員一人ひとりの「幸せ」を叶える組織づくりをすることで自己基盤を形成し、生きがいや働きがい、「やりたい」と思う気持ちを発掘します。安心して働ける、リスクに強い企業体質をつくります。

持続可能な職場環境へ



共に描き共に創り共に歩み共に生きていく
その先にひろがる
一人じゃ見えない景色を一緒に見に行こう



今後の重点課題および目標 (KPI)

SDGsの取り組みをもとに経営と連動した重点項目とKPIを定め、より社会に貢献していけるよう組織づくりに邁進して参ります。

重点項目	重点課題	ゴール (KGI)	目標 (KPI)	2022			2025			2030			活動内容
				2022	2025	2030	2022	2025	2030	2022	2025	2030	
熱技術のスペシャリストへ	遠隔技術の開発	4 質の高い教育をみんなに	遠隔監視機能付き装置の提供件数	開発完了・リリース 1件	5件	30件						遠隔にて効率的に監視できる装置の提供	
	情報発信	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	SynQ Remote を活用して業務支援を行った件数	5件	30件	60件						遠隔地での作業時におけるリモートシステム活用による業務支援や社内教育	
	新技術開発		発信 web サイトのアクセス数	2021年度比 10%増	2021年度比 20%増	2021年度比 50%増						自社 web サイトを通じた技術教育・環境対策情報を幅広く発信する	
	人材育成		新しい技術・サービスのリリース件数	3件	8件	20件						社内外における新規技術創出を促進する	
				インターンシップ等受け入れ件数	2件/年	2件/年	2件/年						インターンシップ等を通じ若者のスキル開発に貢献する
世界を救うで	温暖化対策	7 気候変動に具体的な対策を	省エネルギー商品のラインナップ件数	2021年度比 +1件	2021年度比 +5件	2021年度比 +10件						省エネルギー商品の開発等を進め、自社及び顧客の効率的なエネルギー利用に貢献する	
	熱変換技術の確立	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	顧客へのエネルギー効率改善提案による受注件数	10件	50件	200件						顧客の電化を進める等の提案を行い顧客のエネルギー効率を改善する	
社会を創る	リデュース	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	発生する廃棄物の重量	2021年度比 5%削減	2021年度比 10%削減	2021年度比 15%削減						製品製造時に廃棄物を削減する工程を実装する	
	リユース	12 つくばないものを減らす	調達におけるリサイクル品の点数	2点	5点	10点						自社製品製造時におけるリサイクル品利用を推進する	
	リサイクル	12 つくばないものを減らす	再生材に回す廃棄物のルール化	リスト化スタート	ルール化完了	ルールが守られている状態 100%						製造過程及び業務上発生する廃棄物の分別を徹底しリサイクルへ回す	
環境と人を守る	脱炭素	6 気候変動に具体的な対策を	二酸化炭素排出量 (スコープ1・2)	再生可能エネルギーへの転換および3%削減	2021年度比 5%削減	2021年度比 10%削減						社内の電力を再生可能エネルギーに切り替えかつ使用量を低減させる	
	節水	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	売上あたりの燃料使用量	2021年度比 5%削減	2021年度比 5%削減	2021年度比 10%削減						社用車をエコカーに転換しエコドライブを推進する	
	省資源化	10 気候変動に具体的な対策を	社内の水使用量	2021年度比 5%削減	2021年度比 7%削減	2021年度比 10%削減						社内の水の使用量を低減させる	
		12 つくばないものを減らす	コピー用紙購入量	2021年度比 5%削減	2021年度比 20%削減	2021年度比 30%削減						社内におけるコピー用紙の使用量を削減する	
	社会貢献活動	15 気候変動に具体的な対策を	購入削減の知恵と工夫件数	1件	4件	8件						計画的な調達により無駄な購入品をなくす	
企業が共存する会社へ	キャリアサポート		キャリアサポート実施件数	1件	3件	5件						社員ひとり一人の描くキャリアプランをサポートする	
	エンゲージメント	4 質の高い教育をみんなに	社員のやる気を促す制度改革件数	2件	6件	15件						多用な働き方を推奨しそれに合わせた人事評価制度や給与体系等を構築する	
	ジェンダー	5 ジェンダー平等を推進しよう	女性社員の活躍を推進する施策件数	2021年度比 +1件	2021年度比 +3件	2021年度比 +6件						女性の採用・登用を推進する	
	社員教育	8 働きがい、健康を促進	NFL 実施回数	1回/月	1回/月	2回/月						熱産フューチャーラーニングを実施し社員のスキル向上を支援する	
	心身の健康増進		定期的な情報発信や勉強会などの開催回数	1回/年	1回/年	2回/年						社員の心とからだに関する知識を深め、健康づくりを促す	
会社を愛する会社へ	安全衛生	8 働きがい、健康を促進	リスク対策実施回数	4回/年	4回/年	4回/年						BCPに沿ったリスク対策を実施し社員の安全衛生につとめる	
		11 気候変動に具体的な対策を	3S活動から生まれた安全性維持向上に関わる取り組み件数	1件	1件	1件						3S活動を実施し安全性を維持向上する	

熱技術のスペシャリストへ

社会を創る

企業が共存する会社へ

熱技術をもとにしたお客様への改善提案

ガス加熱 → 電気加熱への転換

◆リックス株式会社 生産本部様 (福岡県須恵町)

ガスバーナーでの過酷で属人化した焼嵌め作業を電気(誘導加熱)での作業にシフト

<担当者様のご要望>

安全化 作業環境改善 省力化 標準化

- ・ガス加熱による危険で過酷な作業を改善したい
- ・作業に付き切りの状況をなくしたい
- ・誰でもできるようにしたい



建屋外作業場
プロパンガス
灼熱
時間も温度も経験値



建屋内
電気
暑くない
温度制御で誰でもできる

INTERVIEW

導入の狙いについて



リックス株式会社
常務取締役 生産本部長
岸川康介氏

Q. 誘導加熱導入検討のきっかけは？

A. 2年前にわたしがこの工場へ赴任してきました。現場の視察の際に、「なんでこんなことしてるの？」と。危険だし、手間も大変そうだし。その時にピンときたのが、『誘導加熱』。そういえば北九州に熱産ヒートさんてあったな、と。それで、担当部門に検討するよう伝えました。

Q. その時の最優先事項は？

A. 『安全』ですね。もちろんそのあとに『コストメリット』もついてきますが。

Q. 検討するときに、(現行の作業を変えることに対する) ネガティブな意見というか、デメリットについての意見はありましたか？

A. 私が言い出しっぺですから、安全性や作業効率など考えると止める理由はなく逆に、「早よせんかい。」と言ったくらいです(笑)

Q. 導入後に感じられたことは？

A. それまでは加熱時の焼き色で判断していたため、できる人が限られていました。何よりも、(温度制御が可能になったので) 作業が誰にでもできるようになったことですね。そういう意味でデジタル化ですね。

リックス株式会社 生産本部様の取り組み・こだわり

- 「手間を減らし省力化(自動化)を進めよ」の方針
- ・労働安全衛生への取り組み 2022年4月 ISO 45001 (労働安全衛生マネジメントシステム) 取得
- ・環境保全への取り組み 電気、ガス、水道などの各種消費量、及び廃棄物の削減による省エネ推進

熱産ヒートの誘導加熱技術による効果

- ・安全
- ・作業改善
- ・省力
- ・標準化(デジタル化)
- ・省エネ

NFL (社内研修) と 3S 活動でサステナブルを学ぶ

◆NFL / Nesson Future Learning

世の中の課題やわが社の未来、私たち自身の可能性について学ぶ社内研修を2020年5月にスタート。北九州市立大学地域創生学群の眞鍋和博先生にナビゲートしていただき、SDGsのアレコレやデザイン思考、課題解決スキルなど、様々なテーマについて意見交換をしたり知識を深めたりと少しずつ、アンテナを広げています。



◆3S 活動 / 整理・整頓・清掃

地元の3社様と共に2019年にスタート。励まし合い競い合いながら、はや3年経ちました。誰もが働きやすい会社を目指し、チームに分かれて、定位置化、標識表示の掲示など、改善活動に取り組んでいます。

専門家の先生にもご指導いただき、3Sのノウハウについても基本から勉強中です。



環境対策展で技術情報発信



2021年3月、環境対策に特化したソリューション事例を発信する新サイト『環境対策展』をリリースしました。

熱処理技術の専門家として培ってきたノウハウを携え、環境、ヒト、生活、そしてこれからの世の中に、少しでもお役に立てよう積極的に取り組んでいこう。その想いからの立ち上げとなりました。

ものづくりに関わる多様な熱処理作業を「ガスから電気へ」つなげていくため、このバーチャル展示会サイトからいろんな視点で発信を続けて参ります。

省エネ、省力、標準化、延命化、といった時代のキーワードを織り交ぜながら、「いま、どんなことができるのか」を皆様に分かりやすくお伝えしてまいります。